

県土マネジメントを推進し、住みよいまちづくりをします。



効率的・効果的な基盤整備と 県土マネジメントの推進

主担当部局：県土マネジメント部



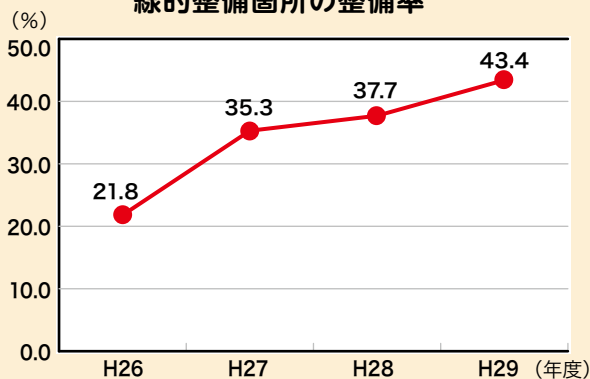
一般国道168号 辻堂バイパス 夢翔大橋(五條市)

◆ 目指す姿

平成32(2020)年度までに、**骨格幹線道路ネットワークの線的整備箇所**(注)の整備率を**52%**にし、**浸水常襲地域における被害軽減のための減災対策**を概ね**7割の地域で完了**させるなど、経済の活性化やくらしの向上に資する基盤整備の取組を進めます。

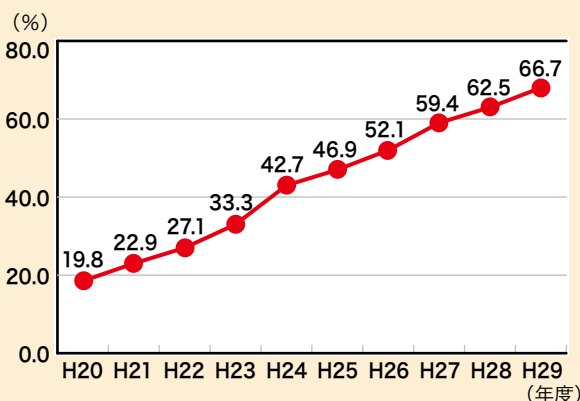
(注) 線的整備箇所…骨格幹線道路ネットワークを形成する各路線のうち、未改良区間及び未事業化箇所

骨格幹線道路ネットワークの
線的整備箇所の整備率



道路建設課調べ

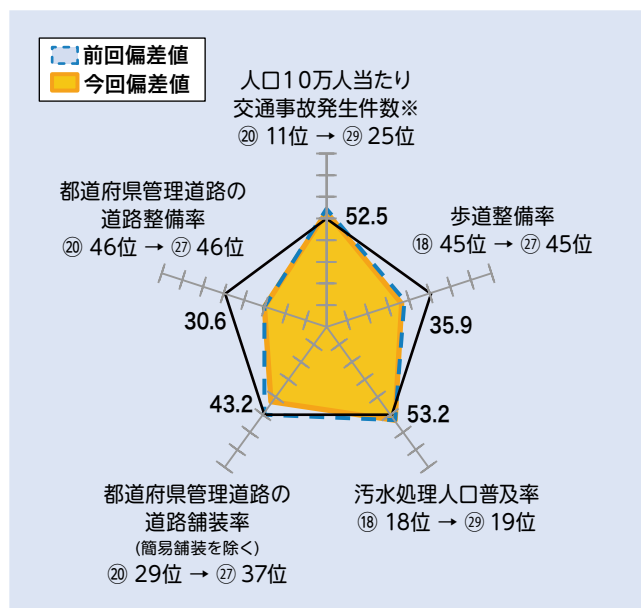
浸水常襲地域における減災対策実施率



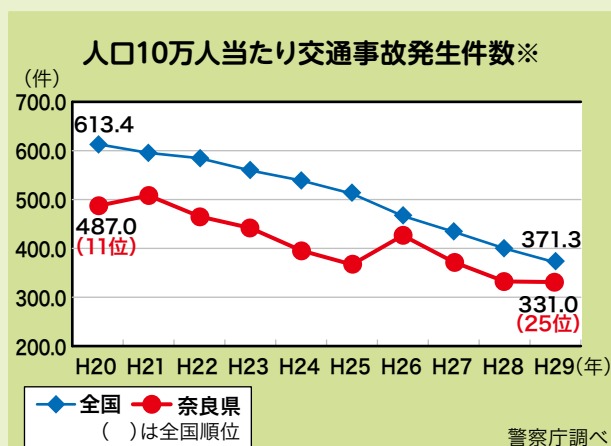
河川課調べ

◆ 目指す姿を達成するための取組状況

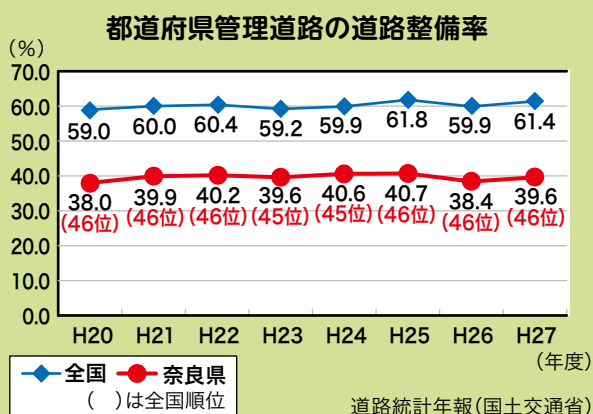
《 現状 》



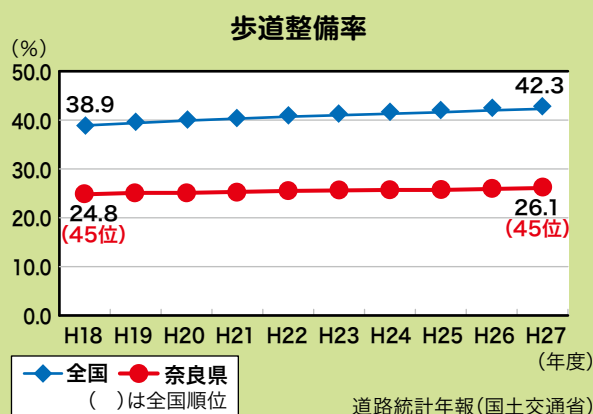
《 トレンド 》



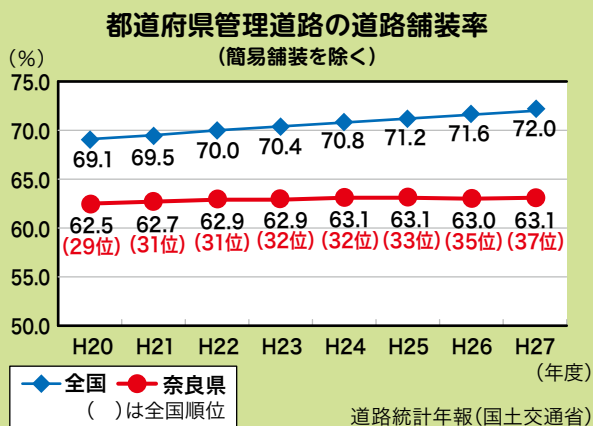
人口10万人当たりの交通事故発生件数は、概ね減少傾向にあり、全国平均と比べても少なくなっています。



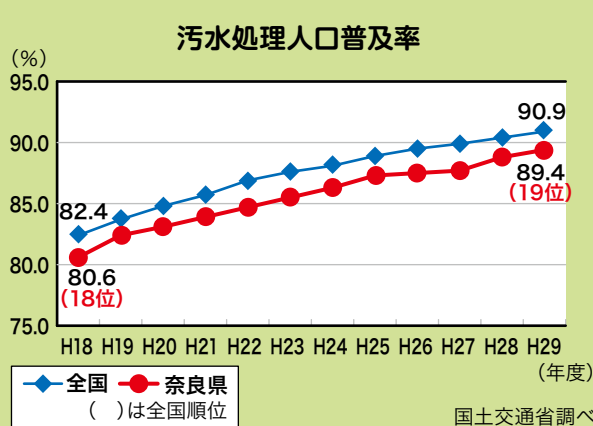
平成27年度の都道府県管理道路の道路整備率は、平成20年度から1.6ポイント上昇していますが、全国平均と比べて依然低い状態となっています。



平成27年度の歩道整備率は、平成18年度から1.3ポイント上昇していますが、全国平均と比べて依然低い状態となっています。



平成27年度の都道府県管理道路の道路舗装率(簡易舗装を除く)は、平成20年度から0.6ポイント上昇していますが、全国平均と比べて依然低い状態となっています。



下水道整備及び合併処理浄化槽設置促進により、汚水処理人口普及率は着実に上昇しています。



戦略 1

企業立地の支援、観光の振興等、地域経済の発展に寄与する基盤整備を推進します。

● 主担当課：県土マネジメント部 道路建設課

◆ 戦略目標

道路整備の完了宣言箇所における供用箇所数(累計)

7 力所
平成26(2014)年

目標

53 力所
平成32(2020)年度

市街地幹線道路の無電柱化率

8 %
平成26(2014)年

目標

12 %
平成32(2020)年度

目標

リニア中央新幹線
三重・奈良・大阪ルート
の早期確定と一日も早い全線開業

◆ 主な取組

項目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
企業立地・観光振興に資する道路の整備	工業団地等へのアクセス道路の整備推進、周遊観光に資する域内交通の充実		
無電柱化の推進	景観、安全性、防災性の向上のための無電柱化の推進		
交通環境の充実	ぐるっとバスの運行、パークアンドバスライドの実施 ● 奈良公園バスターミナルのオープン		
大宮通りを軸とした観光拠点施設の整備	整備の推進 ● 大宮通り新ホテル・交流拠点、古城周辺地区及び高畑町裁判所跡地のまちびらき		
リニア中央新幹線の建設促進	要望活動・調査検討		



工事中の主要地方道枚方大和郡山線 中町工区(奈良市)



工事中の奈良公園バスターミナル(平成30年12月時点)(奈良市)



戦略2

日常生活の利便性・快適性向上を推進します。

● 主担当課：県土マネジメント部 下水道課

◆ 戦略目標

汚水処理人口普及率

87.5 %

平成26(2014)年度

目標

95.1 %

平成37(2025)年度

快適な道路空間の維持・向上活動 参加団体数(みんなで・守ロード事業)

98 団体

平成26(2014)年

目標

108 団体

平成31(2019)年度

公共交通利用者数の増減率

目標

県内人口・来訪者数の
増減率以上の確保

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
下水道の整備と効率的な運営の推進	整備の推進、効率的な運営の推進		
効率的・効果的な道路・河川の維持管理体制の確立	県民との協働による維持管理の推進		
生活利便の向上に資する道路整備の推進	駅周辺の整備やまちづくりと連携した道路の整備推進		
安全で安心な歩行空間の確保	歩道整備、無電柱化の推進		
奈良県公共交通基本計画・奈良県地域公共交通網形成計画の推進	公共交通ネットワークの確保、地域における生活交通の確保		

● 奈良県公共交通基本計画・奈良県地域公共交通網形成計画見直し



バス交通の確保(奈良交通㈱十津川営業所)



協働による道路維持管理「みんなで・守ロード」(奈良市)



戦略3

災害への備え等強靱な県土整備を推進します。

● 主担当課：県土マネジメント部 砂防・災害対策課

◆ 戦略目標

土砂災害特別警戒区域の
調査箇所数(累計)

86 力所
平成26(2014)年度



目標
約10,000 力所
平成31(2019)年度

一般国道168号五條新宮道路
(奈良県域)の整備率

10 %
平成26(2014)年



目標
19 %
平成32(2020)年度

目標

リニア中央新幹線
三重・奈良・大阪ルートの
早期確定と一日も早い全線開業

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
土砂災害対策の推進	土砂災害警戒区域等の指定推進		
総合的な治水対策の推進	浸水害における減災対策の推進		
安全・安心を支える 道路整備の推進	紀伊半島アンカールート・役場等へのアクセス道路の整備推進		
社会資本の長寿命化対策の 推進	道路構造物・河川管理施設等の長寿命化対策の推進		
リニア中央新幹線の 建設促進	要望活動・調査検討		



地蔵院川遊水地(奈良市)



土石流対策工事(天理市)



道の駅「レスティ唐古・鍵」(田原本町)



道の駅「飛鳥」(明日香村)



橋りょう点検・一般国道168号河津橋(十津川村)



【対策前】



【対策後】

無電柱化の推進・一般国道369号(奈良市)



地域性を活かした、にぎわいの ある、くらしやすいまちづくり

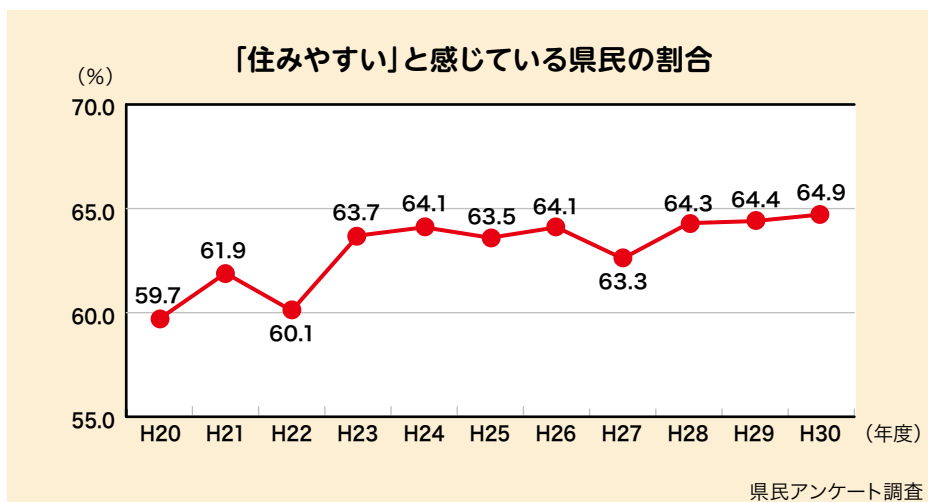
主担当部局：まちづくり推進局



五條マルシェ(五條市)

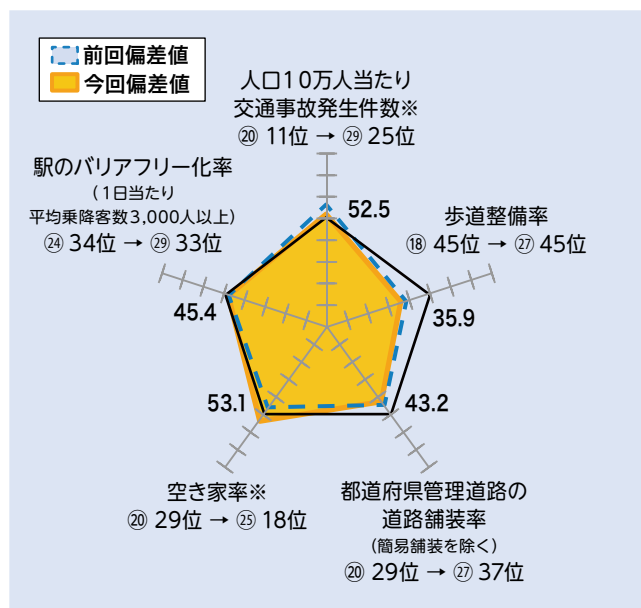
◆ 目指す姿

平成39(2027)年度までに、県民アンケート調査における**奈良県を「住みやすい」**と感じている県民の割合を**70%**にします。

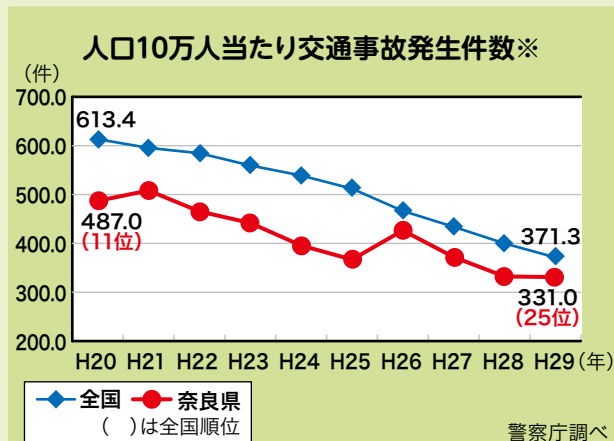


◆ 目指す姿を達成するための取組状況

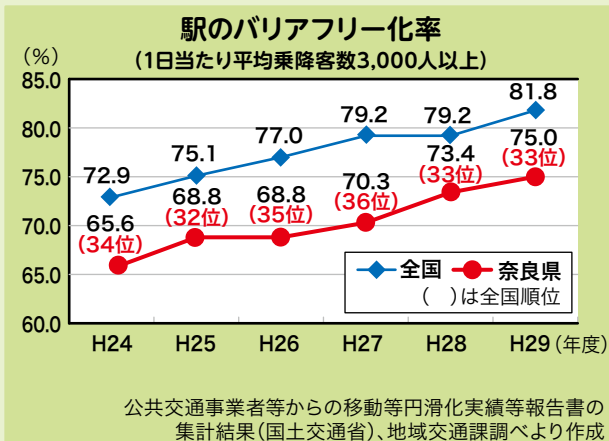
《 現状 》



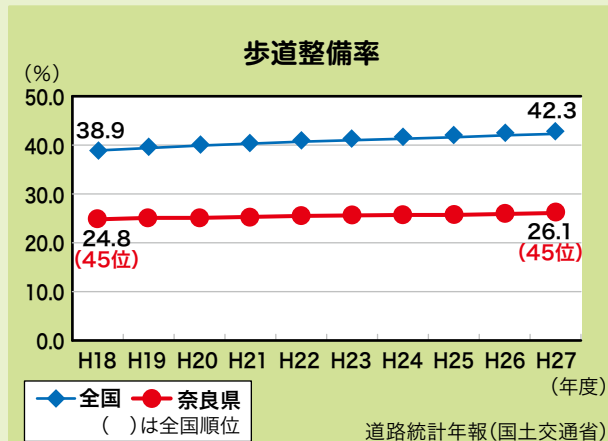
《 トレンド 》



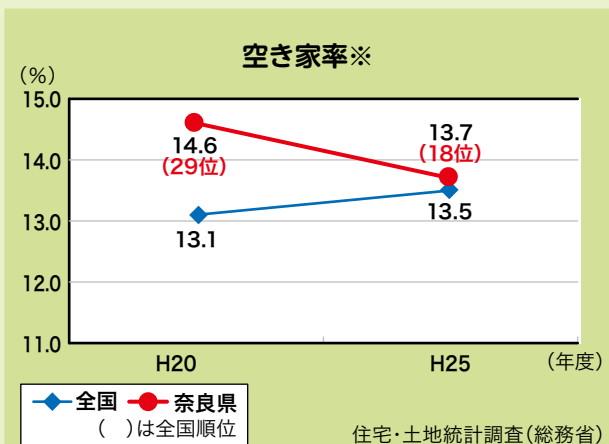
人口10万人当たりの交通事故発生件数は、概ね減少傾向にあり、全国平均と比べても少なくなっています。



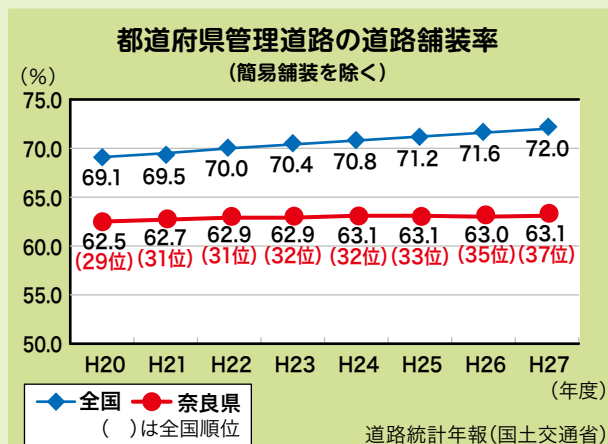
駅のバリアフリー化率(1日当たり平均乗降客数3,000人以上)は、平成24年度と比べて9.4ポイント上昇しましたが、全国平均と比べて依然低い状態となっています。



平成27年度の歩道整備率は、平成18年度から1.3ポイント上昇していますが、全国平均と比べて依然低い状態となっています。



平成25年度の空き家率は、平成20年度と比べて0.9ポイント下がり、全国平均と同程度となっています。



平成27年度の都道府県管理道路の道路舗装率(簡易舗装を除く)は、平成20年度から0.6ポイント上昇していますが、全国平均と比べて依然低い状態となっています。



地域性を活かした、にぎわいのある、くらしやすいまちづくり

戦略 1

地域資源を活かし、**住みよく、住み続けることができるまちづくりを推進**します。

● 担当当課：まちづくり推進局 地域デザイン推進課

◆ 戦略目標

空家等対策計画を策定する
市町村の割合

0%

平成27(2015)年度

目標

50.0%

平成31(2019)年度

まちづくりのための
活動行動者率

13.7%

平成18(2006)年度

目標

増加

平成33(2021)年度

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
空家対策の推進	市町村における空家等対策計画策定等の支援		
地域資源を活用した まちづくりの推進	「奈良・町家の芸術祭 はならあと」や駅前広場等でのマルシェの開催支援		
	川辺のまちづくりの推進		
地域包括ケアの まちづくりの推進	医大・周辺まちづくりの推進		
	奈良県総合医療センターの跡地を活用したまちづくりの推進		



奈良・町家の芸術祭 はならあと2018(吉野町国栖)



川辺のまちづくり(奈良市佐保川)



戦略 2

やすらぎ・憩い・にぎわい・利便性を提供する空間の創出を推進します。

● 主担当課：県土マネジメント部 企画管理室

◆ 戦略目標

河川の美化活動参加団体数
(地域の河川サポート事業「彩り花づつみプログラム」)

25 団体
平成26(2014)年度

目標 → 30 団体
平成31(2019)年度

馬見丘陵公園「花サポーター」
(花緑ボランティア)登録者数

48 人/年
平成28(2016)年度

目標 → 50 人/年
平成32(2020)年度

京奈和自転車道の整備延長

0 km
平成27(2015)年度

目標 → 75 kmの概成
平成32(2020)年度

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
地域との協働による花のある空間づくり	河川を花で彩る活動の実施		
馬見丘陵公園のにぎわいづくり	イベント・講習会等の開催、花のパノラマ景観の創出		
広域的な自転車利用ネットワークの整備	京奈和自転車道の整備推進		更なる自転車利用ネットワークの充実



彩り花づつみプログラム(生駒市富雄川)



馬見フラワーフェスタ(馬見丘陵公園)



地域性を活かした、にぎわいのある、くらしやすいまちづくり

戦略3

バリアフリー・ユニバーサルデザインや景観に配慮した空間の創出を推進します。

● 主担当課：県土マネジメント部 企画管理室

◆ 戦略目標

駅のバリアフリー化率
(1日あたり平均乗降客数3,000人以上)

70.3%
平成27(2015)年度



目標 100%
平成32(2020)年度

ノンステップバスの導入率

39.1%
平成27(2015)年度



目標 70.0%
平成32(2020)年度

市街地幹線道路の無電柱化率

8%
平成26(2014)年度



目標 12%
平成32(2020)年度

河川の美化活動参加団体数
(地域の河川サポート事業「ボランティア支援プログラム」)

101 団体
平成26(2014)年度



目標 109 団体
平成31(2019)年度

◆ 主な取組

項 目	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度
鉄道駅のバリアフリー化推進	駅・周辺主要施設における移動空間の整備		
ノンステップバスの導入推進	バス利用環境の向上		
無電柱化の推進	景観、安全性、防災性の向上のための無電柱化の推進		
河川美化活動の推進	河川美化団体の募集、活動の見える化の実施		



近鉄真菅駅のバリアフリー化(橿原市)



川辺のまちづくり(田原本町飛鳥川)



馬見フラワーフェスタ・ダリア花じゅうたん(馬見丘陵公園)



奈良・町家の芸術祭 はならあと2018(吉野町国栖)



京奈和自転車道の整備(大和郡山市)